

第63回日本小腸学会学術集会 プログラム

第1会場 3階 コスモスホール

8:55 ~ 9:00

開会の辞

9:00 ~ 10:00

主題セッション1 「小腸マイクロバイーム」

司会：金井 隆典（慶應義塾大学医学部内科学（消化器））

大宮 直木（藤田医科大学 先端光学診療学）

共催：ミヤリサン製薬株式会社

S1-1 小腸マイクロバイームが糖嗜好に果たす役割に関する検討

寺谷 俊昭（慶應義塾大学医学部内科学教室（消化器））

S1-2 小腸疾患別における小腸内細菌叢の相違

竹熊 勇登（東京大学医学部附属病院 消化器内科）

S1-3 慢性偽性腸閉塞における水素型SIBOの特徴と治療効果： 日本人コホートと既報比較

富永 顕太郎（新潟大学消化器内科）

S1-4 炎症性腸疾患と健常者における粘膜関連微生物叢の比較研究

二ノ宮 壮広（川崎医科大学附属病院）

S1-5 クローン病における小腸粘膜治癒と腸内細菌叢の関連

山村 健史（名古屋大学大学院医学研究科 消化器内科）

S1-6 クローン病に対する糞便バンクを用いた糞便移植（FMT）の 有効性に関する無作為割付対照比較試験

大宮 直木（藤田医科大学医学部先端光学診療学講座）

特別発言 安藤 朗（川西市立総合医療センター / 滋賀医科大学）

10:05 ~ 10:35

理事長講演 「日本小腸学会と小腸学」

司会：渡辺 守（順天堂大学大学院医学研究科 オルガノイドセンター）

演者：松本 主之（岩手医科大学内科学講座消化器内科学分野）

10:40 ~ 11:40

主題セッション2 「IBDの小腸診療の進歩」

司会：久松 理一（杏林大学医学部 消化器内科学）
中村 志郎（大阪回生病院 IBD センター）
コメンテーター：長沼 誠（関西医科大学 内科学第三講座）

基調講演

炎症性腸疾患の小腸病変をどう診るか・どう治すか
：エビデンスから実践まで

平井 郁仁（福岡大学医学部 消化器内科）

S2-1 抗TNF α 抗体製剤維持治療中の難治性クローン病における小腸潰瘍の 残存と予後

竹中 健人（東京科学大学消化器内科）

S2-2 クローン病における小腸炎症に対する抗TNF製剤とウステキヌマブ の効果比較

平田 有基（大阪医科薬科大学 内科学Ⅱ）

S2-3 バルーン内視鏡を用いたクローン病患者の深部小腸病変に対する グセルクマブの有効性：第3相臨床試験

大森 鉄平（杏林大学医学部附属杉並病院 消化器内科 /
東京女子医科大学 医学部消化器内科学）

S2-4 クローン病小腸狭窄におけるDBE所見とIUS所見の比較検討： 後ろ向き観察研究

君塚 拓也（杏林大学医学部消化器内科学）

S2-5 クローン病に対する小腸内視鏡による深部小腸病変評価の意義

長沼 誠（関西医科大学 内科学第三講座）

S2-6 Crohn病術後再発予測における小腸内視鏡評価の重要性： J-PROSPECT 試験

江崎 幹宏（佐賀大学 医学部 内科学講座 消化器内科）

11:50 ~ 12:40

ランチョンセミナー 1

「クローン病の未来を切り拓く—新たなStandard Of Careの可能性—」

司会：鈴木 康夫（銀座セントラルクリニック）
演者：加藤 真吾（埼玉医科大学総合医療センター 消化器・肝臓内科）
共催：ヤンセンファーマ株式会社

12:50 ~ 13:05

総会・評議員会

13:15 ~ 13:55

特別講演 「小児小腸診療の進歩と課題」

司会：今枝 博之（埼玉医科大学 医学部 消化管内科）

演者：新井 勝大（国立成育医療研究センター消化器科/小児IBDセンター）

14:00 ~ 14:50

スポンサードセミナー 1

「小腸を診る意義～クローン病の診断・治療・モニタリングの最前線～」

司会：穂苅 量太（防衛医科大学校 内科学講座（消化器））

演者：松本 吏弘（自治医科大学附属さいたま医療センター 消化器内科）

共催：アッヴィ合同会社

14:55 ~ 15:45

スポンサードセミナー 3 「クローン病小腸病変のマネジメント」

司会：仲瀬 裕志（札幌医科大学 内科学講座 消化器内科学分野）

演者：竹中 健人（東京科学大学 消化器内科）

共催：武田薬品工業株式会社

15:50 ~ 17:00

主題セッション3 「小腸の基礎から臨床へ」

司会：猿田 雅之（東京慈恵会医科大学 内科学講座 消化器・肝臓内科）

都築 義和（埼玉医科大学 医学部 消化管内科）

コメンテーター：土屋 輝一郎（筑波大学 医学医療系消化器内科）

S3-1 コハク酸がマウスの小腸に及ぼす影響についての検討

田原 寛之（防衛医科大学校病院）

S3-2 青黛の基礎的知見から臨床応用への橋渡し研究

吉松 裕介（慶應義塾大学医学部内科学（消化器））

S3-3 初発時治療前の小児クローン病における血漿アミノ酸プロファイルと免疫病態

森田 篤志（筑波大学附属病院 小児科）

S3-4 分子鎖アミノ酸は小腸粘膜上皮の治癒に関与する

高木 智久（京都府立医科大学 消化器内科）

S3-5 5アミノサリチル酸製剤が腸管上皮のACE2/tryptophan代謝に与える影響の検討

秋田 浩太郎（札幌医科大学 医学部 内科学講座消化器内科学分野）

S3-6 PPI併用インドメタシン誘発性小腸粘膜障害に対するDPP4阻害薬の抗炎症作用の基礎的検討

向坂 秀人（福岡大学医学部消化器内科学講座）

- S3-7 ヒト小腸における尿酸分泌の実証と尿酸トランスポーター遺伝子 ABCG2 変異による影響・最終報告
櫻井 俊之 (東京慈恵会医科大学 内科学講座 消化器・肝臓内科)
- S3-8 CD4-CD8 $\alpha\beta$ -TCR $\alpha\beta$ +T 細胞はアナジー誘導性抗原提示細胞として腸管免疫の恒常性を維持する
根本 泰宏 (東京科学大学 消化器病態学)

17:00 ~ 17:05

● 閉会の辞

第2会場 3階 コスモスホール

9:00 ~ 10:00

一般演題1

座長：渡辺 知佳子（国際医療福祉大学 三田病院消化器内科）

細江 直樹（慶應義塾大学 予防医療センター）

○1-1 当科におけるLynch症候群のカプセル小腸内視鏡検査の有用性に関する検討

村上 徳（松山赤十字病院 胃腸センター）

○1-2 ダブルバルーン内視鏡で確定診断に至ったMeckel憩室癌の一例

杉浦 拓海（防衛医科大学校病院 消化器内科）

○1-3 手術時期の判断に苦慮した腸管ペーチェット病の2例

加藤 真吾（埼玉医科大学総合医療センター 炎症性腸疾患センター / 消化器・肝臓内科）

○1-4 診断困難な小腸多発潰瘍と狭窄の一例

永田 順子（東海大学医学部付属八王子病院）

○1-5 当院におけるクローン病小腸狭窄に対する繰り返し内視鏡的バルーン拡張術の現状

諸星 雄一（横浜市立市民病院 消化器内科）

10:40 ~ 11:40

一般演題2

座長：岡本 隆一（東京科学大学 消化器病態学 / 消化器内科）

鈴木 孝良（東海大学医学部付属八王子病院消化器内科）

○2-1 回腸の転移再発を認めた悪性黒色腫の1例

松本 悠（埼玉医科大学 消化管内科）

○2-2 メッケル憩室からの消化管出血を合併した原発性硬化性胆管炎の一例

磯 俊太（岩手医科大学 内科学講座 消化器内科分野）

○2-3 消化器症状が先行し診断に難渋した自己免疫性自律神経節障害の1疑診例

佐藤 知之（自治医科大学 内科学講座 消化器内科学部門）

○2-4 腹痛を契機に血管性浮腫の診断に至った1例

菅田 修平（広島大学病院 消化器内科）

○2-5 当院で経験したCapsoCam Plus[®]、PillCam[™]の比較検討

宮口 和也（埼玉医科大学 消化管内科）

11:50 ~ 12:40

● **ランチョンセミナー 2**
「炎症性腸疾患診療の“いま”と“これから”～腸内細菌の話題を含めて～」

司会：塩谷 昭子（川崎医科大学 消化器内科学教室）

演者：平井 郁仁（福岡大学医学部 消化器内科学講座）

共催：東亜薬品工業株式会社

14:00 ~ 14:50

● **スポンサードセミナー 2**
「Advanced Therapy時代のクローン病診療における栄養療法を再考する」

司会：江崎 幹宏（佐賀大学医学部 内科学講座 消化器内科）

演者：中村 志郎（互恵会大阪回生病院）

共催：EA ファーマ株式会社

14:55 ~ 15:45

● **スポンサードセミナー 4 「小腸内視鏡診療の最前線」**

司会：田中 信治（JA尾道総合病院）

演者：矢野 智則（自治医科大学 内科学講座 消化器内科学部門）

共催：富士フイルムメディカル株式会社

15:50 ~ 17:00

● **主題セッション 4 「小腸内視鏡診断・治療の進歩（IBDを除く）」**

司会：大塚 和朗（東京科学大学病院 光学医療診療部）

山本 博徳（自治医科大学 富士フイルムメディカル国際光学医療講座）

○ S4-1 小腸血管異形成検出のための人工知能ソフトの開発
井上 健（京都府立医科大学大学院 消化器内科学）

○ S4-2 矢野・山本分類 type 1 の小腸血管性病変に対するコールドスネアとクリップによる内視鏡的治療の成績
田丸 智子（自治医科大学内科学講座 消化器内科部門）

○ S4-3 Blue rubber bleb nevus syndrome の十二指腸・小腸病変に対する内視鏡的硬化療法
濱谷 達起（岩手医科大学 内科学講座 消化器内科分野）

○ S4-4 IEE を使用した Peutz-Jeghers 症候群の小腸ポリープに対する内視鏡的止血術の有用性
重信 修宇也（広島大学病院 消化器内科）

○ S4-5 孤発性小腸 Peutz-Jeghers 型ポリープの臨床的特徴と予後
中村 正直（名古屋大学医学部附属病院 光学医療診療部）

- S4-6 Cardio-facio-cutaneous 症候群と原発性免疫不全症候群を合併し、
多発性小腸原発悪性リンパ腫を発症した 1 例
下森 雄太 (札幌医科大学医学部 内科学講座 消化器内科学分野)
- S4-7 原発性小腸癌の内視鏡所見を含めた臨床像の検討
横田 佳大 (滋賀医科大学 消化器内科)
- S4-8 バルーン小腸内視鏡で診断し得た原発性小腸腫瘍の特徴
日比谷 秀爾 (東京科学大学消化器内科)
- 特別発言 緒方 晴彦 (藤田医科大学東京 先端医療研究センター /
羽田クリニック消化器内科学)